

「車いす空の旅事業」協賛金300万円を寄付

神奈川県遊技場協同組合（理事長：伊坂重憲）と神奈川福祉事業協会（会長：伊坂重憲）は、社会貢献活動の一環として、公益財団法人神奈川新聞厚生文化事業団が行っている「車いす空の旅事業」に協賛して 300 万円を寄付しました。これに対して、同事業団理事長から感謝状をいただきました。「車いす空の旅」は、同事業団が主催して毎年行っている事業で、日頃から車いすで、生活している障がい児者とその家族を 4 月には沖縄へ、9 月には北海道への飛行機での空の旅に招待しているものです。

1. 日 時	令和 3 年 5 月 28 日（金）
2. 場 所	神奈川県遊技場協同組合会館
3. 贈呈者	神奈川県遊技場協同組合・神奈川福祉事業協会
4. 受贈者	公益財団法人神奈川新聞厚生文化事業団 篠原慎一郎理事長

5. 概 要

神奈川県遊技場協同組合と神奈川福祉事業協会は、協会が設立した昭和 60 年から 36 年間にわたって、様々な社会貢献活動に取り組んでいるところですが、この公益財団法人神奈川新聞厚生文化事業団が主催する「車いす空の旅事業」には、平成元年から今日まで継続して支援を続けています。

しかしながら、昨年からの新型コロナウイルス感染拡大により、中止となり今回は 10 月に「チャーターフライトで楽しむ日帰り散歩」と題して周遊飛行を実施する予定です。

寄贈に当たって、伊坂重憲会長は、「コロナ禍で業界も厳しいが、こうした時期だからこそお役立てていただきたい。それが私たちの励みになります。」と挨拶をしました。

篠原慎一郎理事長からは、「昨年空の旅は 4 回中止となり今回、福祉事業全体を支援していただくことになりました。感謝申し上げます。」との謝辞とともに感謝状をいただきました。

この贈呈式の模様は、神奈川新聞、タウンニュースで紹介されました。



伊坂会長と篠原理事長



篠原理事長を交え神奈川福祉事業協会役員